ピンクリボンかがわ県協議会発足10年

乳がん早期検診定着へ 地域密着で さらに啓発

高松市の丸亀町壱番街ドームをピンク色にライトアップ（2009年10月）

約300人が参加したピンクリボンウオーク（2013年）

10年の歩み

香川県でのピンクリボン運動は、増え続ける乳がんに危機感を抱く医療関係者らの働きかけに始まった。2005年には医療関係者、企業、女性団体、患者会で構成される「ピンクリボンかがわ県協議会（三浦称ピンクリボンかがわ）」が発足。乳がんから命を守る運動として、マンモグラフィ検診の推進、乳がん検診の受診率アップを目指すピンクリボン運動が動き始めた。

運動の意義周知

当時、乳がんに対する認識はまだ低く、マンモグラフィ検診の重要性もほとんど認知されていなかった。マンモグラフィ検診の普及を図り一人でも多くの女性を乳がんから守るために08年12月には、スタートイベントとして高松中央公園とライパーク香川を会場に高松冬のまつり「ピンクリボンデー」を開催。その後も、地元の本格的なシンフォニックオーケストラSWOによるジャズコンサート（06年12月）、バスケットボールのbjリーグ、高松ファイアリーズの試合会場でのイベント（08年1月）など、毎年、地域に密着したイベントを実施。09年に実施した丸亀町壱番街ドームのライトアップイベント「スイーツ&マルシェ with ピンクリボン」は、女性に人気のスイーツとのコラボレーションによる啓発イベント、マスメディアなどを通した広報活動も功を奏して、女性やファミリー客を中心に大いに賑わいを見せた。

特産の三盆糖を使った「おっぱい和三盆」

昨年からは、乳がん予防の意識を高めてもらおうと、新たにウオーキングイベント「ピンクリボンウォーク」を2年続けて実施。乳がん検診の重要性をアピールしている。

地元企業後押し

ピンクリボン運動のもう一つの柱は、講演会や講習会の開催だ。これらの会には、検診や治療の最前線に立つ医師などに、全国に先駆けてがん教育の推進を掲げ、小中高生対象にしたがん教育プロジェクトをスタートしている。医療行政のメンバーから成る「がん教育プログラム検討会」が教材や指導書を作製し、すでにいくつかの学校でモデル授業も行われた。来年からは小中高それぞれの年代に応じた本格的ながん教育が始まろうとしている。

従事者、乳がん体験者、あるいは作家の依頼でもう、タレントの山田邦子さんやアグネス・チャンさんといった著名人らを招へいして講演会を開催。それぞれの立場から乳がんの正しい知識について紹介するとともに、検診の大切さを訴えた。

イベントや講演会などの開催に当たっては、運動の趣旨に賛同する多くの地元の有志企業が協賛、運動の広がりを力強く後押ししている。

50%達成へ継続

乳がんの早期発見・検診受診率向上を訴えるピンクリボン運動を効果あるものにするためには、乳がんを取り巻く環境の把握が欠かせない。

この10年間、その任に当たり運動を下支えしてきた存在が、マンモグラフィ設置医療機関で構成されるピンクリボンかがわメディカルネットだ。

全国各地のピンクリボン運動は、啓発活動を主体に活動しているところが多いが、香川ではマンモグラフィ検診の受け皿づくりを重視、メディカルネットが中心となって、マンモグラフィの整備状況や実施状況に関する調査を実施するほか、医師や技師など医療従事者のリスキルに力を入れ講演会を開催している。これによって、最新情報を共有、知識、技術のレベルアップを図っている。

香川でピンクリボン運動が始まって10年、さまざまな啓発活動の積み重ねもあって、乳がんの早期発見・検診受診の重要性に対する認識は高まり、受診率も徐々に向上してきている。ただ、目標とする50%への道のりはまだ遠い。今後も、啓発活動の継続が求められる。

アグネス・チャンさんが巻頭に登場したオアシス別刷のピンクリボン特集（2012年10月28日号）

協議会顧問（前代表）
森下立昭氏

情報の直接通知を

発足当時、マンモグラフィ検診は全国的にもそれほど普及しておらず、ピンクリボン運動の認知度も低い状況がありました。現在のように広く知られるようになったのは、ピンクリボン運動に賛同し啓発団体、女性団体、患者会、マスメディアなど数多くの支援と積極的な取り組みがあったからこそと感謝しています。

厚生労働省の2012年度地域保健・健康増進事業報告によると、県内の乳がん検診受診者数は2万7612人。03年度のマンモグラフィ検診受診者数の2853人と比べて約10倍に増えているものの、受診率はそれでも26.6%。目標に掲げる50%には程遠いのが現状です。

今後受診率50%を達成させるためには、ピンクリボン運動などの啓発とともに、受診方法や医療機関などの具体的な情報を直接通知できる体制づくりを進めていく必要があります。

協議会代表・県医師会長
久米川啓氏

男性も関心高めて

日本の社会は少子高齢化が進み、生産人口が減少する一方で医療費がは増大し、その医療費をどう支えるかが課題になっています。医療費を減らすには、負担を上げるか、医療のレベルを落とすかという話になります。がん検診は効果が証明された検査を定期的に受診することで早期にがんを発見することができ、必要最小限の治療により、治療費と体の負担を減らすことが可能です。

乳がんは、家庭や社会の担い手となる働き盛りの女性がかかるのが特徴。がんから身を守るためには検診を受けることが何より大切です。

乳がん検診として現在市町で行われているのは、触診とマンモグラフィ検診。現在、厚労省では視触診を検診項目から外すかどうか、視触診を外した場合に超音波検査が補足するものになるかどうかの検討に入っています。視触診に比べて精度が高く手軽に検査できる超音波検査法は、検診の組み合わせ次第で受診率の向上や精度の向上に一役買う可能性があります。

ピンクリボン運動はこれまで、主に女性の力で担われてきました。しかし、男性も他人事としてではなく、自分や家族のこととして理解しておく必要があります。

子どもへのがん教育は、母親をがん検診に向かわせるきっかけになるなど、さまざまな効果が期待できる。がん教育を受けた子ども達が孫へのがん検診の成否の鍵を握っているといっても過言ではない。

子どもの教育が鍵

がんは1981年に死亡原因のトップになって以降、右肩上がりで増え続け、日本人の2人に1人がかかり、3人に1人がんで亡くなっている。

乳がんは女性がかかるがんで最も多く、2010年には全国で年間約7万人が発症、12人に1人の女性が乳がんを発症している。（国立がん研究センター資料より）

県内では元香川労災病院副院長の鶴野正基氏が古くから乳がん検診を進めてきたこともあり、全国的にみても早くから乳がん検診が始まった。

現在、県内の乳腺専門医等で構成する「香川県乳腺研究会」が県全体の乳がん診断数をほぼ把握。同会の調べによると、12年には633人が乳がんと診断されている。

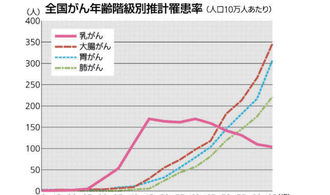
香川県はその人口規模から全国の100分の1モデルといわれ、検診対象者数は全国のほぼ100分の1。乳がん発症数も同様に100分の1だが、死亡率はやはり低く全国の最低はベスト5。検診受診による早期発見効果といえよう。

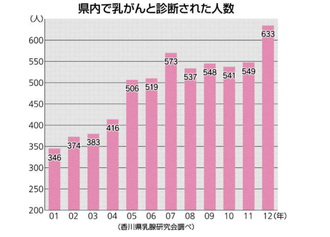
乳がん検診は、かつては視触診かマンモグラフィ検診かなどの診方法がなかったが、2000年にマンモグラフィ検診が国の指針に入り開始された。香川では本格的にマンモグラフィ検診が始まったのは05年から。その後、マンモグラフィ装置の整備が拡大され、撮影技師や読影医師が充実、乳がん検診施設医療機関が徐々に増加した。

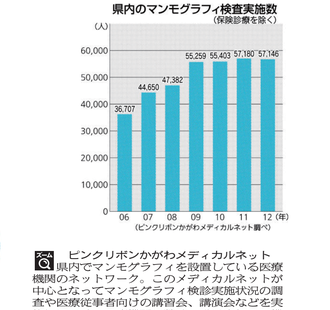
県協議会アドバイザリーの調べによると、保険診療を除く県内のマンモグラフィ撮影件数は、12年が約5万7千人、06年の約3万6千人に比べ、約1・6倍に増加している。おそらくこの数字が県内のマンモグラフィの全体の検診数ではないかとみている。しかし、マンモグラフィ検診の受診率は12年現在で26・6%と、目標の50%には遠く及んでいないのが現状だ。

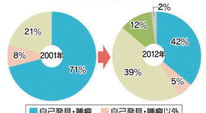
これまでの乳がん検診は、ピンクリボンかがわ県協議会などを中心に主に女人向けの啓発活動に取り組んできたが、教育を通して子どもころからの啓発活動へと広がりを見せている。

香川県は2011年に制定したがん対策推進条例の条文中









ピンクリボンかがわメディカルネット
県内でマンモグラフィを設置している医療機関のネットワーク。このメディカルネットが中心となってマンモグラフィ検診実施状況の調査や医療従事者向けの講習会、講演会などを実施している。医療機関の数は、発足当初の34機関から40機関（2014年）に増加している。

かがわに広がるピンクリボン運動

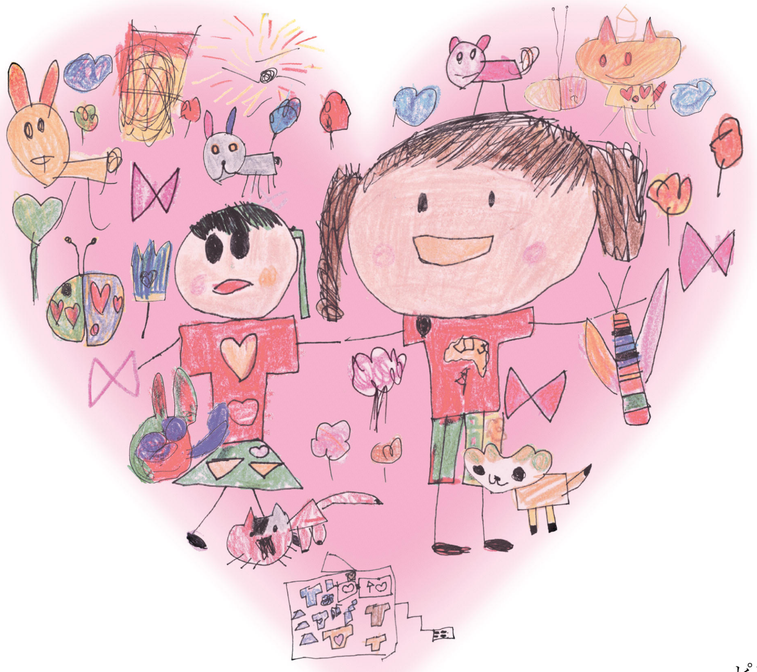
ピンクリボン運動は乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝える運動です。

ピンクリボンかがわは、皆様のご支援により活動しています

「生きる」を創る。Aflac
石清尾八幡宮
NTT西日本 "光"、ひろがる、ひびきあう。
Human Communication KAGAWA 香川印刷株式会社 高松市郷東町792-9 TEL.087-882-3338(代)
香川銀行 トモニホールディングス
香川県美容業生活衛生同業組合 専修学校 香川県美容学校
香川短期大学 あなたの未来を応援します。 綾歌郡宇多津町浜一番丁10番地 TEL.0877-49-5500
Color And Total styling CAT
KIRIN キリンビバレッジ
生活協同組合コープかがわ
Coca-Cola 四国コカ・コーラボトリング（株）
THE GLASS GARDEN 新開振銀店 高松市丸の内10番地26 TEL.087-821-2814
株式会社 四国細胞病理センター 高松市六条町712番地1 TEL.087-899-6011
SEKI セキ株式会社
cecile
塚本産業株式会社 高松市成合町2番地 TEL.087-886-1126
帝國製薬株式会社 東かがわ市三本松567番地 TEL.0879-25-2221
東京海上日動 東京海上日動あんしん生命 香川県高松市古新町3-1 東明ビル TEL.087-822-6001
百十四銀行
FUJITSU 株式会社富士通四国インフォテック
株式会社保険クリニック 丸亀市土器町西2丁目267番地 TEL.0877-23-7775
Mizuno
勇心酒造株式会社 綾歌郡綾川町小野2088-1 TEL.087-876-4111
La Famille フランス菓子工房 ラ・ファミーユ 高松市木太町2192 TEL.087-837-5535
国際ソロプチミスト高松
高松中央ライオンズクラブ ライオンズクラブ国際協会336-A地区4R-2Z

お母さんも受けてね。

あなたとあなたを必要としている大切な子どものために2年に一度は乳がん検診へ。



pink ribbon kagawa

岩佐病院 医療法人社団 さびあき 救急告示 仲多度郡琴平町榎井775 TEL.0877-73-3535
NTT西日本 高松診療所 予防医療センタ 高松市観光町649-8 TEL.087-839-9620
社会医療法人財団 大樹会 総合病院回生病院 坂出市室町三丁目5番28号 TEL.0877-46-1011
香川県厚生農業協同組合連合会 滝宮総合病院 綾歌郡綾川町滝宮486番地 TEL.087-876-1145
香川県厚生農業協同組合連合会 屋島総合病院 高松市屋島西町1857番地1 TEL.087-841-9141
公益財団法人 香川県予防医学協会 高松市伏石町2129番地2 TEL.087-868-5555
公益財団法人 WELL SPACE ウェルスペース 香川成人医学研究所 坂出市林津町3丁目2-31 TEL.0877-45-2311
医療法人財団 博仁会 キナシ大林病院 高松市鬼無町藤井435-1 TEL.087-881-3631
医療法人社団 博仁会 久米川病院 高松市新田町甲474-3 TEL.087-844-3111
ササキメディカルクリニック 高松市多肥下町1547-8 TEL.087-814-3339
セントラルパーククリニック 高松市番町1丁目10番16号 TEL.087-863-4560
医療法人社団英会会 そがわ医院 三豊市豊中町下高野1091 TEL.0875-62-2357
日赤赤十字社 高松赤十字病院 高松市番町4丁目1-3 TEL.087-831-7101
香川県農協生活協同組合 高松平和病院 高松市栗林町1-4-1 TEL.087-833-8113
多度津三宅病院 仲多度郡多度津町栄町2丁目1-36 TEL.0877-32-2447
国家公務員共済組合連合会 KKR高松病院 高松市天神前4-18 TEL.087-861-3261
たけべ乳腺クリニック 高松市多肥下町365-9 TEL.087-867-0205
医療法人社団和広会 伊達病院 高松市観光町588番地8 TEL.087-831-1701
三豊市立 西香川病院 三豊市高瀬町比地中2986番地3 TEL.0875-72-5121
医療法人社団 青冥会 ミタニ藤田病院 高松市三谷町1680-1 TEL.087-864-8778
三豊総合病院 観音寺市豊浜町和田浜708番地 TEL.0875-52-3366
独立行政法人 地域医療機能推進機構 りつりん病院 高松市栗林町2丁目5番9号 TEL.087-862-3171
公益社団法人 香川県看護協会 香川県高松市国分寺町国分152-4 TEL.087-864-9070
一般社団法人 香川県診療放射線技師会 高松市木太町2367-1 TEL.087-862-2626
一般社団法人 香川県薬剤師会 高松市亀岡町9番20号 TEL.087-831-3093
一般社団法人 高松市医師会 高松市松島町一丁目16番20号 TEL.087-831-2208
公益財団法人 香川県総合健診協会（日本対がん協会 香川県支部） 高松市郷東町587-1 TEL.087-881-4867 （歯不問）

ピンクリボンかがわ県協議会
詳しい活動については、こちらから→ ピンクリボンかがわ 検索
事務局/（公財）香川県総合健診協会内 香川県高松市郷東町587-1 Tel.087-881-4867
E-mail: jimukyoku@pinkribbon-kagawa.jp
http://www.pinkribbon-kagawa.jp